

2023.11.12

日曜日

東北支部通信

第21号

< 発行 >

公益社団法人
全日本鍼灸学会
東北支部

令和5年11月12日(日) 仙台国際センター 展示棟 会議室にて、第39回 東北支部 学術集会が開催されました。急に肌寒くコートが必要な朝でしたが、会場には学生の方々や東北各県から数多くの方々にご参加いただきましてこれまでにない程の盛会となりました。来年迎える全国大会に向け、大きな弾みとなるようで、何だか開催の息遣いや鼓動が聞こえてくるような感じがして、風薫る五月 緑豊かな青葉の杜での開催の様子が見えるようでした。



教育講演1「初学者のための不妊症への鍼灸アプローチ」では、一般社団法人 JISRAM 監事、宮城大会の実行委員長でもいらっしゃる 三瓶 真一 先生 にご講演いただきました。学生の方々の学習内容と鍼灸治療を分かりやすくつなげていただいたお話から、不妊症に挑む鍼灸の取り組みにご苦労されたお話など、1時間では足りませんでしたが、最後にこの続きは宮城大会にて、全国の先生方からご講演やシンポジウムやランチョンセミナーにて続きのお話が聞けますと、来年の大会企画の一部をご紹介いただき、今から期待に胸高鳴るご講演となりました。

教育講演2 学生応援企画「鍼灸の基礎的知識と治療」としまして、公益社団法人 全日本鍼灸学会 常務理事 帝京平成大学ヒューマン学部 鍼灸学科 教授 今井 賢治 先生 にご講演いただきました。この講座では昨年同様 学生座長として、仙台赤門医療専門学校 鍼灸マッサージ東洋医療科3年 西城 幸江 さんと同じく 横山 拓実 さんのお二人が学生座長として進行してくれました。実は演題だけ決まっていた、今井先生が当日どんなお話をされるかわからないビックリ企画でした。スタートは鍼麻酔の貴重な手術映像をもとに鍼灸理論の再確認、そして途中からは福島県立医科大学 会津医療センター附属研究所 漢方医学研究室 教授 鈴木 雅雄 先生が急遽参加され、学校の学習・臨床実習から実際の現場臨床につながるお話まで発展的なディスカッションができました。お二人の学生座長からは、



今井賢治 先生 鈴木雅雄 先生



横山拓実 さん 西城幸江 さん

贅沢な授業を受けているようでしたと感想があり、参加されていた学生の方々にとっても日々の学習とこれから未来に向けた臨床とをつなげるよい機会になったと思います。

学生発表として 演題「粒鍼刺激と材質による疲労度軽減の検証」仙台赤門医療専門学校 鍼灸マッサージ東洋医療科2年 石井 潤 さん、櫻井 暁慧 さんと、一般口演として 演題「災害支援鍼灸師制度と育成」一般社団法人 福島県鍼灸師会 理事 中沢 良平 先生。お二組からご発表いただきました。

東北支部 創立40周年 記念祝賀会

学術集会に引き続き、来年の全国大会に向け、そして決起集会も兼ね、40周年記念祝賀会を行いました。締め際には「エイエイオー！」の勝鬨をあげて、開催の機運をさらに高めました。

